Ａ－１　学校研究

諸　法　規

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法

・学習指導要領
・石川の学校教育振興ビジョン
・学校教育指導の重点

保護者教師の願い

・粘り強く、意欲的な子
・心身の健康な子
・感性の豊かな子
・協力的で協調性のある子
・思いやりと感謝の心をもつ子
・自立心のある子

学　校　の　教　育　目　標

正しく　・高い知性をもち、自ら判断できる生徒
　　・きまりを守り、常に進歩向上に努力する生徒
強く　　・強い身体と強じんな意志をもった生徒
　　・創造性、自主性のある生徒
明るく　・思いやりの心をもち、協力し、礼儀正しい生徒
　　・広い視野にたって郷土を愛する生徒

生徒の実態

・素直で純朴である。
・明るく元気である。
・基本的な生活習慣が身に付いていない。
・強いリーダーがいない。
・学習意欲が不足している。

地域の実態

・豊かな自然に囲まれ、観光資源や遺跡・文化財が多い。
・人情が厚く、連帯感が強い。

め　ざ　す　生　徒　像

①思いやりがあり、互いに協力しあう、礼儀正しい生徒
②自然環境に恵まれた郷土を愛し、誇りに思う生徒
③生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を大切にしようとする生徒

研　究　主　題

「ふるさとに親しみ、心豊かに生きる生徒の育成」

～地域の人材の活用を通して～

研　究　仮　説

①自然豊かな能登島に生きる人々の生きざまにふれ、ともに学ぶことができるなら、生きることの大切さを理解・共感し、豊かな心情が育つであろう。
②家庭や地域社会との連携を深くし開かれた道徳教育を展開するなら、道徳的実践の補充・深化・統合がはかられ、ともに伸びようとする広い心が育つであろう。

各　学　年　の　重　点　目　標

第１学年
・日常生活の基本的な生活習慣をしっかり身につける。
・集団と個の役割を理解し、自主的な活動ができる態度を養う。

第２学年
・自分の言動に責任を持つ態度を養う。
・集団の中で、力を合わせ、互いに向上をめざす態度を養う。
・勤労と責任の精神を養う。

第３学年
・人間として生きる喜びを見いだし、豊かな感性を養う。
・自主的な判断力を養う。
・明るい社会の実現に向けて努力する態度を養う。

特殊学級
・社会に出て対応できる能力を身につける。
・基礎学力の充実と集団の中にスムーズに参加できる能力を身につける。
・交流学習で決まり、時間、節度を身につける。

道徳的価値の自覚

道徳の授業

・道徳的価値の追求、人間としての生き方の自覚を深め、豊かな心情を育てる。
・保護者、地域の人材を広く活用し、開かれた授業をめざす。
・個に応じた授業に努める。
・道徳的実践の補充・深化・統合をはかる。

道徳的実践力の育成

道徳以外の授業や学校行事など

各教科指導
・授業の中に生徒が自ら考える場と時間を設定する。
・基礎基本を大切にし、個に応じた授業に努める。

特別活動
・学級活動、生徒会活動、学校行事等の諸活動の体験を通して集団の一員としての自覚を深め自主的な道徳的実践の場にする。

総合的な学習の時間
・自分の生き方やあり方を考え、自己のよさを伸ばしていく機会とする。

教育課程外
・環境整備の推進。挨拶、整理整頓等生活の基本を学びあう。
・部活動を通して自主性、根気よく努力する態度を養う。

道徳の生活化

地域、家庭との連携

・学級だより、学年だより、PTA 会報、地区別集会、家庭訪問、地区行事等を通して、道徳教育を地域や家庭に広げる。
・道徳教育についての理解を深め、地域や家庭の協力を得ながら、道徳的実践力の向上のため連携する。

学　級　経　営